

令和8年度

地域とともにある学校づくり

田無第二中学校 1年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：西東京地産地消プロジェクト（通称 NCP）
（活動名）

ねらい：

- ・自身の住んでいる地域の農業を知ることによってふるさとについて深く探究し、郷土愛を育む。
- ・地産地消をテーマに地域の農業の実態について調べることを通して、問題解決力を実践的に育む。
- ・訪問体験を通して、自主性、責任感、コミュニケーション能力、協調性の育成を図り、社会人として必要な常識、礼儀を学ぶ。

【6月5・8日】 事前学習

各担任より、今回のふるさと探究学習に関するガイダンスが行われました。

生徒たちは地産地消が地域の活性化につながることや、「探究学習とは何か」を学びました。

その後、班ごとに分かれて、農家訪問に向けて交通経路の確認や質問事項の検討を行いました。

生徒たちは普段の生活の中で抱いていた、地元の農業への疑問を出し合い、探究学習における課題の設定を明確にすることができました。

また、訪問前日には、班行動する上での注意事項などを確認しました。

【6月9日】 農家訪問①

生徒たちはバスや電車を利用して、農家訪問を行いました。事前に行き方を調べていたことで、スムーズに訪問先に到着することができました。

到着後に、農家の方々にインタビューをしました。



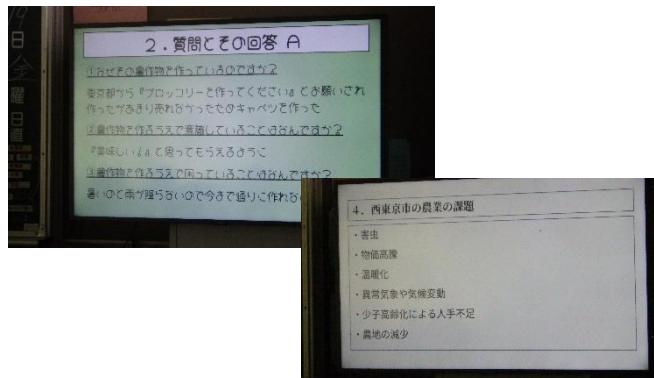
【6月9日】 農家訪問②

インタビューの後、実際に農作業の体験をさせていただきました。雑草取りや玉ネギや枝豆の収穫など普段はできない体験をさせていただきました。



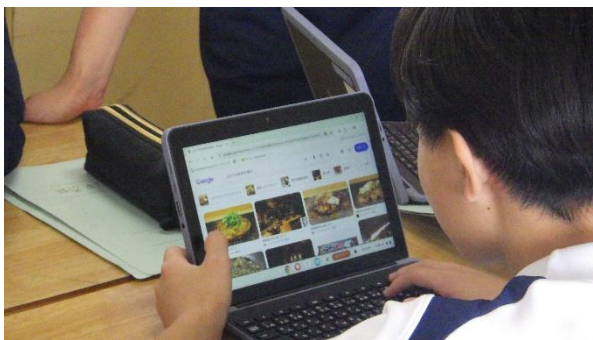
【6月15日】 事後学習①

農家訪問で質問した内容やうかがったお話をスライドにまとめて発表しました。農業を続けていくうえで、天候だけでなく、後継者や温暖化などの課題もあることに気づきました。



【6月22日】 事後学習②

地域の農作物を使った献立を、班ごとに考えて学校公開にて発表するための準備を行いました。
主菜や副菜を何にするかを話し合い、分担してその作り調べるなど、協力して学習を進める様子が見られました。



【7月11日】 発表

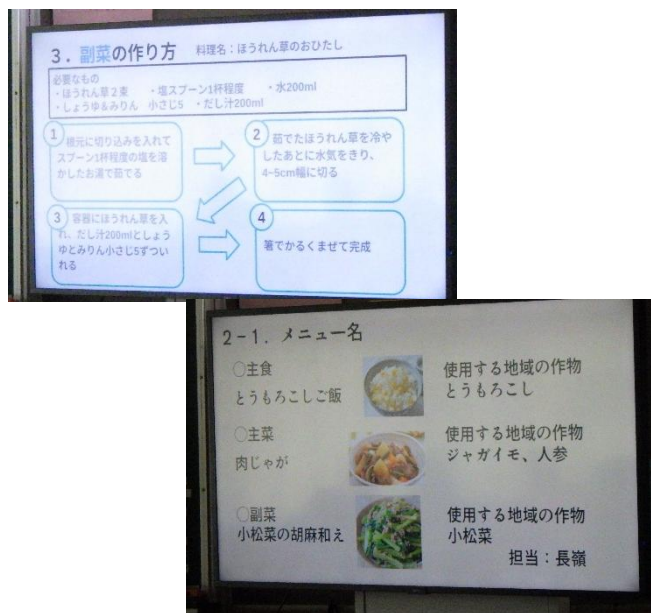
学校公開に合わせて、今回のふるさと探究学習で学んだことを発表しました。

多数の保護者にご来校いただいた中で、生徒たちは自分たちが学んだことを、自信をもって発表する様子が見られました。



<制作物>

発表の際に使用したスライドの一部を掲載します。



<ふるさと探究を通して学んだこと>

●生徒のワークシートより

- ・野菜を作るのは、こんなに難しいんだなぁと驚いた。また、大変な中でも自分たちのために野菜を作ってくれている農家さんに感謝したいです。給食も残さず、おいしく食べたいと思います。
- ・メニューを考えるのは簡単で、作るのが大変だと思っていましたが、栄養バランスや見栄えなども考えていて、とても大変だと実感しました。
- ・地域で作られる野菜は環境の変化や農家不足で食べられなくなってしまう可能性があることを感じました。

CSとの連携

コーディネーターの方に協力を依頼して、生徒が考えたメニューを提供してくださる飲食店を紹介していただきました。

まとめ

- ・生徒たちは農業体験で地域の方々と交流した経験を通じて、西東京市に対して興味をもつことに繋がり、郷土愛が育ちました。その一方で、西東京市の農業が直面している課題にも気づくことができました。
- ・班で協力して献立を考えてその発表活動をしたことにより、地域の農作物を地域でどのように消費していくかを考え、課題解決能力を向上させることができました。
- ・食物が自分のもとに届くまでに、多くの方々の努力や工夫があることに気付くことができました。